

## みみ、はな、のどの急病について

小野耳鼻咽喉科医院院長  
府中地区医師会理事  
小野淳二

## 耳鼻咽喉科とは 耳鼻咽喉科救急について 鼻出血 異物

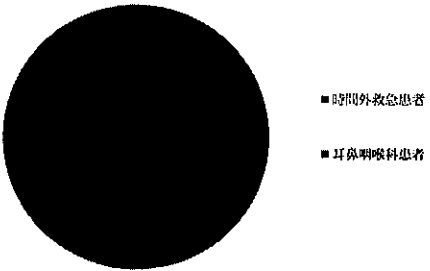
## ヒポクラテス(BC460～BC377)

- ・鼓膜を聴覚器官の一部とみなした最初の医師。
- ・「子供は耳漏に苦しみ、大人は聾に苦しむ」  
(Aphorismsより)
- ・耳漏は脳膿瘍よりくる。(これは誤り)

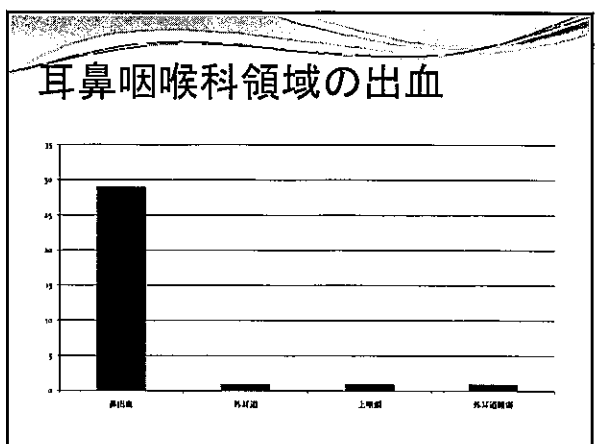
## 耳鼻咽喉科とは

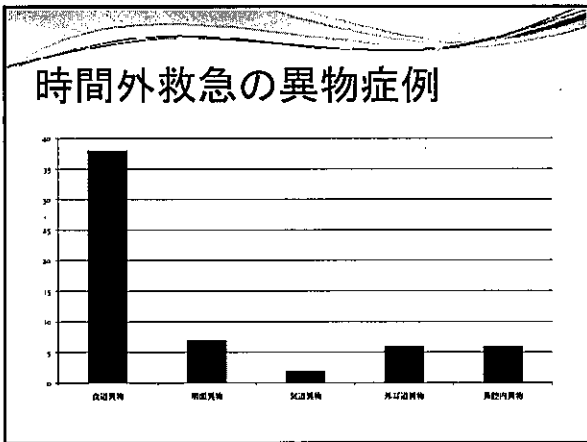
- ・ヒトの頭部にあり、特殊な器具(光源と凹面鏡、さまざまな鏡を用いた器具等)を使用して診察する所を扱う部門

## 耳鼻咽喉科の救急について



- 時間外救急患者
- 耳鼻咽喉科患者





## 鼻出血

### 鼻血について

## 鼻出血

耳鼻咽喉科外来患者の4から5%を占める。

小児期と中高年期の二峰性のピークを示す。

男性に多い。(女性ホルモンが関連するといわれるも原因不明)

血圧との関連性は明確でないが、入院を要した症例では高血圧が多かった。

## 小児の鼻出血

- 鼻をいじる、こすることにより出血をきたすことが多い
- 粘膜、血管が弱いため少しの刺激でも出血しやすい
- アレルギー性鼻炎が原因となる場合がある

- 解熱剤(パファリンなど)の頻回の使用
- 点鼻薬の不適切な使用

## 高齢者の鼻出血

- 何らかの基礎疾患を抱えていることが多い  
高血圧、肝機能障害、心臓病など
- 男性に多い、冬季に多い
- 薬剤の影響  
抗凝固剤  
アスピリン パナルジン プレタール ワーファリン  
など  
抗がん剤(内服薬にて)

## 自宅での正しい止血処置法

- 鼻翼部の圧迫(ピンチング) 5分から10分
- 座らせて軽くうつむいた姿勢をとる
- 口に流れてくる血液は飲み込まないように、洗面器やタオルに吐き出させる

## 鼻血に対する誤った対処

鼻の付け根をつまむ

首の後ろをたたく

→ とくに止血効果はない

のけぞって上を向く 血液を飲み込む

→ 血液を嚥下していると気分不良、嘔吐をきたす

## 病院での止血法

- 出血部位の特定
- ガーゼ等による圧迫止血
- 特殊器具による圧迫止血
- 焼灼術による止血
- 動脈塞栓術による止血

## 異物症

のどの異物とその他

## のどの異物について

咽頭の異物症

全異物症の中で約30%と最も多い

大部分は魚骨で、ウナギやアジが多い

その他には針、竹串、釘など

口蓋扁桃が約55% 舌根部が約20%

喉頭の異物症

比較的少ない

幼小児の男子に多く、豆類、玩具の部品などがみられる

成人では魚骨が最も多い

高齢者では食物片の割合がふえる

## 病院での対処

- 咽頭異物摘出術  
直視下  
喉頭鏡、直達鏡、内視鏡下
- 喉頭異物摘出術  
喉頭鏡下  
直達鏡、内視鏡下(全身麻酔)

### 異物と窒息

咽頭では拇指大、喉頭では小指頭大以上の大きさの異物で窒息を生じる  
乳幼児ではガラス玉、ソラマメ、ゴム風船など  
高齢者では餅、イカ、タコなどの食塊など

餅誤嚥の誘因としては高齢、神経疾患、飲酒、雑煮やつきたての柔らかい餅などがあげられる

### 自宅での対処法について

- ・気道閉塞  
嘔吐反射で吐出させる  
指、スプーン、掃除機にてかき出す  
ハイムリツヒ法
- ・魚骨に対するごはんの丸のみ  
有効性は不明

### 小児気管支ピーナッツ異物

摘出が遅れると種子より油分が滲出し重篤な気道の障害をきたすため、迅速な処置が求められる。  
異物の誤嚥を周囲が目撃していることが多いが、長引く咳や発熱で見つかることもある。

全身麻酔下に気管支鏡にて摘出を行う。

術後に喉頭浮腫による呼吸困難をきたすことがある。手術後約24時間は危険な状態である。

### PTP異物

PTP包装の普及により増加の傾向にある。  
成人に多く、食道異物となる。定期的な服薬を受けている人に多い。  
1センチ以下の大きさのものは通過して異物にならず、3センチ以上のものは誤って飲み込むことはない。

内視鏡を使って摘出する。

### ボタン型電池

近年、ボタン型電池が広く普及し、食道異物となる症例が増加している。  
直流電流により発生するアルカリが強い腐食作用を示す。

緊急摘出術の絶対適応である

術後の食道穿孔、癒着性食道狭窄の予防を行う。

### その他の異物症

- ・外耳道異物  
全異物症の中で約20%  
成人にも比較的好くみられる  
小児ではビーズ玉、豆類、消しゴムなど  
成人ではゴキブリ、蛾など昆虫が多い(特に夏場)その他は綿栓、マッチの軸、毛髪、砂粒など

•鼻の異物

全異物症例の約17%

小児が約90%で、3歳以下が約60%を占める

男児に多い

ピストル玉、ネックレス玉、ビーズ玉が約40%

その他紙片、玩具の部品、ボタン、豆類など

自分で入れることが多く、繰り返しいれる癖のある児がいる。

